

再評価調査書

事業名	淀川水系 下止々呂美谷右支溪 砂防事業		
担当部署	都市整備部河川室ダム砂防課砂防グループ（連絡先 06-6944-9302）		
所在地	箕面市大字下止々呂美		
再評価理由	事業採択後 10 年を経過した時点で継続中		
事業概要	目的	本溪流は、土砂災害から、府民の生命・財産を守るため、自然的要件（地形、荒廃）社会的要件（避難所・避難路、災害時用援護者施設・被害の影響の大きい）をもとに重点化の評価を行った結果、優先的に整備すべき箇所となっているため、人家等に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防施設の整備を促進し、土石流等の土砂災害に備える。	
	内容	砂防えん堤工 2基 2期施工 W=37.8m、1期施工W=31.6m H=7.0m、H=6.5m	
	事業費	全体事業費：約 4.2 億円（約 4.2 億円） うち投資済事業費：約 2.9 億円 （内訳）調査費約 0.4 億円（約 0.4 億円） （内訳）調査費約 0.4 億円 用地費約 0.8 億円（約 0.8 億円） 用地費約 0.8 億円 工事費約 3.0 億円（約 3.0 億円） 工事費約 1.7 億円 （ ）内の数値は計画時点のもの	
		【計画時点の事業費との変動理由】 -	
	維持管理費	-	
	上位計画	・ 大阪府都市基盤整備中期計画（案）改定版（平成 17 年 3 月策定） 財政再建プログラム案に基づき、見直しを行っていく。	
	関連事業		
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	現時点での状況 分析 【完成予定の変更理由】
		事業採択年度：H11 事業着手年度：H11 完成予定年度：H20	事業採択年度：H11 事業着手年度：H11 完成予定年度：H22 年度毎の事業費の削減による完成年度の遅れ
	進捗状況		（平成 19 年度末） 用地買収率：100% 契約済 7,496 m <sup>2</sup> /全体 7,496 m <sup>2</sup> 工事進捗率：57%
	途中段階の整備効果発現状況	工事概成毎に効果を発揮する。	
	事業進捗に関する課題	特になし	

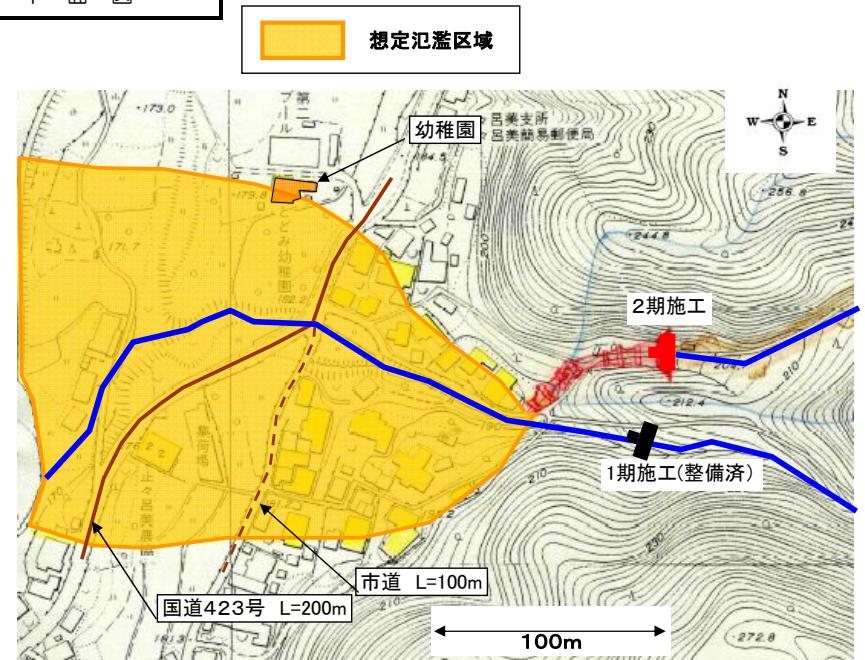
事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		災害発生の危険度 溪流侵食や山腹崩壊などにより流出した不安定な土砂が、流域の渓床には多く堆積しており、洪水時に流出する恐れがある。  保全対象 人家：14戸 （幼稚園1施設） 道路：国道 200m ：市道 100m	同左	諸状況に変化なし
地元等の協力体制		市からの強い要望があり、全面的な協力体制を得ている。		

		計画時の想定		現時点での状況(変更点)	分析
			備考		
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出していない。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>B / C = 2.27</math></li> <li>便益総額 B = 9.3億円</li> <li>総費用 C = 4.1億円</li> <li>算出根拠 国土交通省河川局砂防部(H12)「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」</li> </ul>	便益内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 人命保護効果(人命損失軽減): 2.1億円</li> <li>• 家屋被害軽減効果: 5.5億円</li> <li>• 公共・公益施設被害軽減効果(道路、橋梁の復旧費用軽減): 1.7億円</li> </ul>
	その他の指標(代替指標)				
事業効果の定性的分析	安全・安心	土石流による人家への直接的な被害の軽減が図れる		変更なし	土石流災害を未然に防止し、人命、保全計画家屋等の安全性確保が見込まれる。
	活力				
	快適性				
	その他				
	自然環境等への影響と対策	・砂防えん堤により、溪床、溪岸の侵食が防止されるため、堆砂敷より上流の樹木を保全できる。		変更なし	
	その他特記すべき事項	本事業による砂防えん堤によるハード対策に加え、ハザードマップや砂防フェアー、土砂災害警戒情報、防災訓練等のソフト対策による住民の安全・安心の充実を図っていく。			

事業箇所図



平面図



標準断面図

